

やさい週間情報(第20号)

平成29年8月25日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	6,500~6,000	6,500~6,000	-	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 お盆明け以降の入荷が少なく、引続き不足感がある中での販売となっている。今週については他の野菜が高騰する中「やさいの日」に向けた発注が多く、特に2L級以下については荷動きが良好となっている。ただし、B品の太物についてはいまだ荷動きが鈍い状況。 9月に向けて消費宣伝会を積極的に企画し、売場の確保・拡大に努め需要の喚起を図っていく。 また、品質低下や折れも見られることから、産地においては選別の徹底や荷扱いに注意をお願いします。
		A3L	6,500~6,000	6,500~6,000			
		A2L	5,700~5,500	5,700~5,500			
		A L	5,000~4,800	5,000~4,800			
		A M	4,500~4,300	4,500~4,300			
		B4L	5,500~5,000	5,500~5,000			
		B3L	5,500~5,000	5,500~5,000			
		B2L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B L	4,500~4,300	4,500~4,300			
		B M	4,200~4,000	4,200~4,000			
		C2L	4,400~4,200	4,400~4,200			
		C L	4,000~3,800	4,000~3,800			
		名古屋	本県産 北海道産	A4L			
A3L	6,500~6,000			6,500~6,000			
A2L	6,000~5,500			6,000~5,500			
A L	5,200~5,000			5,200~5,000			
A M	4,600~4,500			4,500~4,200			
B4L	5,500~5,000			5,500~5,000			
B3L	5,500~5,000			5,500~5,000			
B2L	5,200~5,000			5,200~5,000			
B L	4,700~4,600			4,700~4,600			
B M	4,400~4,300			4,400~4,300			
C2L	4,600~4,500			4,600~4,500			
C L	4,200~3,800			4,200~3,800			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,000～ 6,000～ 5,500～5,300 5,000～4,800 5,200～5,000 5,200～5,000 4,700～4,500 4,300～ 4,400～4,200 4,000～3,800	6,000～ 6,000～ 5,500～5,300 5,000～4,800 5,200～5,000 5,200～5,000 4,700～4,500 4,300～ 4,400～4,200 4,000～3,800		カット 78～98円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 盆を過ぎて全体的な荷動きは鈍くなりつつある。また、量販店等からの1本売りの注文は増えてきており、中心はM級以下の細物となっているが、2L級・L級の1本売りの注文も徐々にではあるが出てきている。しかし、その一方で、4L級・3L級の引合いはそれほど強くない状況となっている。 来週についても、入荷量は少ないため、価格については保合推移となる見込み。また、消費宣伝を積極的に実施し、需要喚起を進めていく。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	6,500～6,000 6,500～6,000 6,000～5,500 5,500～5,000 5,500～5,000 5,500～5,000 5,000～4,800 4,800～4,500 4,200～4,000	6,500～6,000 6,500～6,000 6,000～5,500 5,500～5,000 5,500～5,000 5,500～5,000 5,000～4,800 4,800～4,500 4,200～4,000		カット 100g 98～88円	お盆前と比較して、お盆明けの荷動きも大きな変化はなく、量販店の売場構成も狭いままとなっている。 今週も気温が35前後で推移している影響により、量販店の商材も秋商材とはなっていないことも、価格の維持につながっている。 来週は今週以上に入荷量が減少する見込みに加え、気温高の予想から、現在の価格を保ったまま推移する見込み。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,000～ 6,000～ 5,500～ 5,000～4,800 5,500～5,000 5,500～5,000 4,500～ 4,300～ 4,200～4,000 4,000～3,800	6,000～ 6,000～ 5,500～ 5,000～4,800 5,500～5,000 5,500～5,000 4,500～ 4,300～ 4,200～4,000 4,000～3,800	なし	1本売り 480～円 カット 100g 84～78円	本県産中心の販売。 お盆明け以降、入荷量が少ない状況が続いており、売価高から末端の荷動き鈍い中ではあるが、市場によっては、全く入荷の無い市場もあるため、引合いは依然として強い。 来週についても、東北市場への入荷は少なく、市況は保合推移の見込み。

品名 にんにく

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産(生) 香川県産(乾燥)	A 2 L A L A M	2,200~2,000 2,000~ 1,800~	2,200~2,000 2,000~ 1,800~	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 本県産の入荷がお盆前から少ないことから、全体的に不足感が見られ、引合いの強い状態が続いている。出荷比率の低い 2 L 級は強め、出荷比率の高い M 級についてはやや弱めの相場展開となっている。 比較的 M 級の入荷が多いため、ながいもの宣伝会に絡めた企画提案を行い L M 中心の販売環境づくりに努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,200~2,000 2,200~2,000 2,000~1,800 2,000~1,800 1,800 1,800	2,200~2,000 2,200~2,000 2,000~1,800 2,000~1,800 1,800 1,800	なし	L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 2 L 級が少なく、M 級が比較的多い入荷状況となっている中、流通量の少なさから市場在庫も少なく、総じて引合いの強い状況が続いている。 今後も入荷量は少ない見込みから、市況は保合で推移する見込み。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,000 2,200~2,000 1,800~	2,500~2,000 2,200~2,000 1,800~		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 入荷量が少ないため品薄感が大きく、特に量販店向けの L 級でその傾向が強くなってきている。また、引続き、入荷割合の低い 2 L 級は引合いが強く、入荷割合の高い M 級は他階級に比べると引合いが弱いものの、総じて堅調な販売で推移した。 来週についても、入荷量は増えきらないことから同様の傾向が続き、価格についても保合推移となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,200~2,000 2,000~1,800 1,700~1,500	2,200~2,000 2,000~1,800 1,700~1,500			にんにくの流通量が少なく、2 L 級は強め、M 級は弱めの販売が続いている。 管内では、過去 2~3 年 2 L 級の多さから 2 L 級の売込みを図ってきたが、今年産は極端な少なさから L 級にシフトさせた販売提案となっている。 本県産の流通量が増えなければ、当面、現在のような価格形成は続く見込み。

品名 にんにく No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,200~ 2,000~ 1,800~	2,200~ 2,000~ 1,800~	なし	L 1 P 298 円	<p>本県産中心の販売。お盆明け以降、県内市場以外の入荷が無く、不足感が非常に強い。</p> <p>入荷のある県内市場についても、平年と比べると入荷量が少なく、市況は強保合推移。来週についても、東北市場への入荷は少ないことから、市況は強保合での販売となる見込み。</p>

品名 だいこん

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産	A 2 L A L	800~ 600 900~ 700	800~ 600 900~ 700	—	1本 198~178 円 半分カット 98 円	<p>北海道産中心に本県産の販売となっている。</p> <p>北海道産中心の入荷となっているが、品質が安定せず、カット品の割合が比較的高く製品の出荷量が少ない要因となっている。消費地の気温の上昇や 1/3 カット品の売場となっており消費が伸びておらず、総体量は多くはないが、荷動きは芳しくない状況となっている。</p> <p>来週についても、引続き相場は弱保合で推移する見込み。</p>
名古屋	本県産 岐阜県産 北海道産	A 2 L A L	1,000~ 900 1,100~1,000	1,000~ 900 1,100~1,000		1本売り 198~158 円	<p>本県産および北海道産中心の販売となっている。</p> <p>長雨の影響に伴い入荷量の減少が懸念されたものの、本県産は安定した入荷となった。B品やカット品の割合が高く、A品については堅調な販売となった。下級品については、腐れや傷みが散見された。</p> <p>来週についても引続き、本県・北海道産中心の入荷が見込まれる中、保合での販売が続く見込み。</p>
東北	本県産	平場 A 2 L A L 高冷地 A 2 L A L	800~ 700 900~ 800 1,000~ 1,200	800~ 700 900~ 800 1,000~ 900 1,200~1,100	—		<p>盆明け以降、本県産の入荷量は増加しつつある、本県産平場については、品質不良も散見されており、市況はやや弱含み推移となっている。</p> <p>来週については、入荷量が微増となることから、軟調推移となる見込み。</p>

品名 こ か ぶ

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A2L A L	1,400~1,300 1,400~1,300	1,400~1,300 1,400~1,300			<p>本県産中心の販売。 お盆明け以降、天候不順の影響により数量が少ない状況が続いている中、特売需要も重なり一時的に引合いが強まったことから価格は先週より更に一段上げての販売となっている。 今後、天候の回復により数量の増加が見込まれるものの、数量についてもそれほど多くない見込みで保合での販売となる見込み。再度、消費宣伝会を実施し、消費拡大に努める。</p>
名古屋	本県産	A3L A2L	1,200 1,200	1,300~1,200 1,300~1,200			<p>本県産中心の販売となっている。 降雨による収穫遅れ等から入荷量が少なく、市況は強めで推移したものの、日によって数量・階級が不安定な出荷となっていることから、こかぶの売場自体が他品目に切替わる懸念が強くなっている。 来週以降については、学校給食の需要も出てくることから、安定的な出荷対応が望まれている。</p>
大阪	本県産	A3L A2L A L	1,200~1,000 1,300~1,000 1,200~1,000	1,200~1,000 1,300~1,000 1,200~1,000			<p>本県産中心の販売。 他品目と同様、産地での低温・少照の影響から、玉の太りが悪く連日の出荷とならず入荷量が少ないことと、品質低下品が少ないことから、価格は強含みで推移した。 来週については、天候が回復する予報であるため、数量は幾分回復すると思われるが、同様の傾向が続く見込み。</p>
東北	本県産	A2L A L	1,500~1,400	1,500~1,400			<p>お盆明けから入荷量少なく、荷動きも好調なことから市況は一段上げとなった。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、市況は強保合で推移する見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M A S	1,600~1,500 1,800~1,700 1,600~1,500	1,600~ 1,800~ 1,600~			<p>東北産、北海道産中心の販売となっている。</p> <p>各産地ともに気温の低下、曇天が続く全体的にA品の入荷が少なくB、C品中心の出荷となっている。また割れ等もみられ製品の出荷量は非常に少ない状態が続いており、総体的な不足感から今週は更に価格を上げての販売となっている。特に気温の低下にともない着色不良の影響もありL中心となっていることからM中心に引合いが強い状況が続いている。</p> <p>全国的な天候不順で今後の出荷量の極端な増加は見込めないことから堅調な販売は続くものと思われる。また7月下旬から都内を中心に販促活動を強化しており、今後も引き続き実施することで消費の拡大に努めていく。</p>
名古屋	本県産 岐阜県産	A L A M	1,800~ 1,800~	1,600~ 1,600~			<p>本県産・岐阜県産中心の販売となっている。</p> <p>各産地とも天候不順の影響から総体量が少ない状況が続いている中、やさいの日に向けて荷物を確保する動きが強まり、価格は上げ基調で推移した。</p> <p>岐阜産については、曇天・日照不足で着色が遅れ、出荷進度が前年を大きく下回る状況が続いているものの、9月以降は回復する見込みとなっている。</p> <p>来週は、前半は保合で推移する見込みとなっているものの、後半は岐阜県産の出荷状況によってはやや下げが見込まれる。</p>

品名 ミニトマト No. 2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M 3Kバラ	160~ 180~ 2,000~1,800	180~ 200~ 2,000~			<p>東北産、北海道産中心の販売。</p> <p>北海道産、東北各産地は天候不順の関係から、総体量は少なくパック・バラともに相場は先週より一段上げての販売となっている。</p> <p>東北産地の低温の影響から入荷量はそれほど多くはない見込みだが、来週以降、学校給食等の始まりから需要は更に広がっていくことが見込まれるため、来週についても堅調な販売で推移する見込み。大玉同様に量販店での消費宣伝会を企画し、消費の拡大に努める。</p>

品名 ばれいしょ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	メークイン A 2 L A L A M	1,000~ 900 1,000~ 900 800~	1,000~ 800 1,000~ 800 800~			<p>北海道産中心に本県産の販売。</p> <p>北海道産帯広地区の入荷が本格的に始まり、これまで不足気味であった2L・L級についても、不足感が緩和されつつあり若干価格を下げながらの販売となっている。本県産についても天候不順から掘り取りが進まず、残量もあることから引続き厳しい販売が見込まれる。</p> <p>しかしながら本県産の売場を維持していくためには継続的な出荷と品質維持が不可欠なので風乾と選別の徹底をお願いします。</p>
名古屋	本県産 静岡産 北海道産	メークイン A 2 L A L 丸系 A 2 L A L	メーク 1,200~1,000 1,000~1,000 丸系 1,200~ 800 1,000~ 800	メーク 1,200~1,000 1,000~1,000 丸系 1,200~ 800 1,000~ 800			<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>丸系については、北海道産の入荷量が増えており、本県産の売場は縮小となっているものの、北海道産はM級以下が多く、本県産については概ね保合での販売となった。</p> <p>メークインについては、北海道の大型産地がまだ本格化しておらず、強めの販売となった。</p> <p>9月に入ると、帯広地区が本格化することから、本県産の売場が確保できる8月中の出荷を急ぐことが重要と思われる。</p>

品名 ば れ い しよNo.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	北海道産 本県産	マークイン					北海道産・本県産の販売。 北海道産（十勝管内）はM級・S級中心で、肥大を促すため掘取りは本格化しておらず、9月に入ってから増量する見込みとなっている。さらに、本県産も終盤で減量してきているため、総体量は少なく価格は強気配で推移した。 来週については、徐々に北海道産も増量してくるものの総体量は増えきらず、価格については概ね保合推移となる見込み。
		A 2 L A L A M	1,300～800 1,200～800 1,200～800	1,200～800 1,200～800 900～600			
九州	本県産	丸系					お盆明けの週で、徐々に北海道産が入荷増となっているが、L・M級は本県産中心の売場構成から、価格は保合傾向で推移している。 来週も35度前後の気温見込みで夜温も高く、消費の拡大は期待されないものの、3L・2L級の業務需要（学校給食）が再開され、また、量販店の袋詰めは本県産の売場構成となっていることから、月末ではあるものの価格は概ね保たれる見込み。
		A 2 L A L A M	1,600～1,200 1,300～1,100 800～700	1,500～1,200 1,100～ 700～			
						袋 158～138円	

品名 ピーマン

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	関東近在産 本県産	A L 袋	1,500～1,300 75～70	1,500～1,300 75～70			東北各産地中心に茨城県産の販売。 東北各県ともに天候不順の影響から入荷量が少なく、価格を上げての販売となっていたものの、茨城産の秋作のバラ産地の出荷も始まりバラについては価格を下げながらの販売となっている。 降雨や日照不足により花落ちもみられ今後もそれほど急激な増量は見込めず、今後は保合での相場展開となる見込み。

品名 ピーマンNo.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 福島県産 兵庫県産	バラ A L 袋 A L	2,000~1,500 70~	2,000~1,500 70~			<p>本県産中心に福島県産・兵庫県産の販売。 東日本での低温・少照の影響から、各産地の果菜類の入荷量は大きく減少していたものの、徐々に回復傾向となっている。また、入荷量が減少したことで売込みが掛けられなかったことから、品薄感も落ち着いてきており、価格は保合推移となっている。</p> <p>来週については、天候が回復する予報であるものの、入荷量はそれほど増えないとの予想から、保合推移となる見込み。</p>
東北	本県産 東北産	バラ A L 袋 A L	1,600~1,400 80~70	1,600~1,400 80~70			<p>本県産・東北産の販売となっている。</p> <p>先週に引続き、本県、東北産ともに入荷量少なく、市況は、強含み推移となっている。</p> <p>来週についても、気温が低く入荷量の少ない状況が続けば、市況は強保合推移の見込み。</p>

品名 露地ねぎ

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	A 2 L A L	1,500~1,300 2,000~1,800	1,300~1,000 1,800~1,600			<p>東北各産地中心の販売。</p> <p>週前半は少ない入荷が続いていたものの、各東北産地で天候回復や相場が高騰したことをうけ、入荷量はやや多くなってきている。これまでの入荷が極端に少なかったことから量販店の売場が狭まっていることや軟腐等の品質不安から荷動きが悪くなっている。</p> <p>来週以降、東北各産地の入荷がさらに増量することが予想される。徐々に平年並みの価格に戻しながら、売り込みの強化を図り、本県産の売場の確保、荷動きの改善に努める。</p>

品名 きゅうり

事務所	主力 産地	主力 等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状況	小売り 状況	販 売 状 況
東京	本 県 産	Aコン	2,300~2,200	2,000~1,800			<p>東北各県産中心の販売となっている。</p> <p>東北各産地ともに低温、日照不足の影響からの出荷量が少なく推移したことから、週前半までは高い相場での販売となった。天候は回復しているが露地物のお荷量はそれほど多くはなく、逆に群馬、福島県産の抑制物のお荷は増えつつある。</p> <p>低温、日照不足から一転、気温高が続いているため、しおれ等による樹勢の弱まりも懸念され、極端な入荷の増減はない見込みで今後も保合での展開となる見込み。</p>